

**2026年12月期 第1四半期 決算説明会 Q&A要旨 (2026. 5. 14開催)**

※質問内容を事業別に分類の上、質疑応答の要旨を掲載しております。

**エデュケア事業**

**Q.** 人材需給の逼迫に対応するために運用を開始した「新人事制度」の特徴や、どのような内容が採用促進・離職抑制に繋がっているのか具体的に教えてほしい。

A. 要員充足は引き続き重要な経営課題ですが、2026年4月の新規採用数が前年を約3割上回り、離職率も改善するなど、定量面で着実に成果が現れています。

当社の制度の特徴は、個々の成長や状況に寄り添うアプローチ（キャリアプランと個人の目標に対する達成度、仲間への貢献など）を軸としている点にあります。この2年間、経営の最重要テーマとして「社員ファースト」を掲げ、①働きやすさ、②成長実感、③処遇改善の3つの軸を総合的に推進してきました。

単に採用数を追うのではなく、保育士という仕事の社会的価値ややりがいを丁寧に発信し、当社の理念に共感した「長く働きたい」と思える人財を採用・育成する好循環の構築を、さらに強化してまいります。

**Q.** 2025年度は開園数よりも閉園数が上回ったが、その要因は何か。また、2026年度の計画において状況が変化する理由も併せて教えてほしい。

A. 開設につきましては、当社の教育方針や「エデュケア」の考え方に共感いただける自治体との連携を重視し、学童・児童館などの委託事業を中心に着実に拡大しております。

一方、認可保育所等の直営施設については、都市開発などに伴い、中長期的な需要が見込まれるエリアや、選手村跡・高輪ゲートウェイといった象徴的な開発案件など、将来性や地域価値を慎重に見極めた上で投資を行っております。

閉園につきましては、待機児童数の減少など市場環境の変化に伴い、一部エリアでは施設の社会的役割を終えたと判断されるケースも出てきております。

当社は保育所運営という社会的責任を重視し、在園児の皆さまが安心して卒園いただける環境整備や、保育士等の他施設への配置転換など、グループ経営の強みを活かした丁寧な対応を行っております。

2026年度につきましては、不採算施設の整理が一巡したことを踏まえ、戦略的な新規開設と、社会的役割を終えた施設の適正化をバランスよく進めていく方針です。その結果として、開設数と閉園数が概ね均衡する計画となっております。

Q. 1Qで発生した「会計・制度上の調整要因」3点は、2Q以降に相殺され、年度通期では影響が残らないと考えてよいか。特に「公定価格改定率の年度間差異」の見通しを伺いたい。

A. 年度通期では影響は残らないと考えていただいて、概ね問題ありません。  
当該調整要因は、いずれも年度内での計上時期のズレ（期ずれ）によるものです。公定価格の改定率差異についても、受領した収入分はそのままスタッフへの処遇改善原資（原価）となるため、最終的な利益への大きな影響はありません。  
従って、実態ベースの通期業績見通しについては、期初の想定通り、順調に推移していると、評価しております。

Q. エデュケアの「会計・制度上の調整要因」の影響について、今期のガイダンス（業績予想）に織り込まれていない年間の影響額は、営業利益ベースでどれくらいか。

A. 結論としては、通期の営業利益に与えるインパクトは概ねニュートラルです。  
四半期単位での計上時期のズレとして現れているだけであり、また、人事院勧告に伴う改定分も「助成金として受領した収入分を原資に、スタッフへ支払う」という構造であるため、ネットの利益ベースでは相殺されます。年度トータルでの営業利益影響は、ほぼないという認識でおります。

## 全体（経営体制）

Q. 経営陣としてROIC（投下資本利益率）経営を推進しているとのことだが、特にエデュケア事業における、ROIC最大化に向けた具体的な戦略・戦術は何か。

A. エデュケア事業においては、構造的なシフトを重視しています。  
以前は大規模な設備投資を伴うナーサリー（保育所）の開園が中心でしたが、現在は社会的ニーズが「待機児童から待機学童」へ移っていることを捉え、初期投資を抑制できる「委託型（学童・児童館等）」へのシフトを加速させています。  
加えて、全自治体で解禁された「付加的サービス（ポピンズプラス）」による上乗せ収益の獲得を1園ずつ着実に進めており、施設コストを抑えつつ利益率を高める戦略をとっています。

財務面からの補足コメント：

当社の強みは、極めて高いROICを誇り、かつ大規模な投資を必要としない「ファミリーケア事業」を成長ドライバーとして持っていることです。エデュケア事業においても、固定資産を小さく抑える「委託型モデル」への転換を進めることで、グループ全体の資本効率は、今後さらに良好な方向へ向かうと考えております。

以上



【お問い合わせ】 株式会社ポピンズ IR室  
✉ [ir@poppins.co.jp](mailto:ir@poppins.co.jp)  
☎ 03-6625-2753